



日本遺産

さいくうあと通信

発行：明和町 斎宮跡・文化観光課（三重県多気郡明和町大字馬之上945番地）
電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133 E-mail：saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp



もくぞうだいにちによらいざぞう

新しい指定文化財の紹介 ～木造大日如来坐像～

令和6年6月27日に開催された教育委員会において、下御糸地区^{やまど}八木戸の薬師寺が所蔵する「木造大日如来坐像」が新たに町指定文化財（有形文化財 彫刻）に指定されました。

本像は製作の特徴から平安時代後期の作と考えられ、浄土宗系の寺院が多い当町では数少ない密教彫刻である点も評価されました。

<特徴>

- ・時代：平安時代（12世紀）
- ・所有者：宗教法人薬師寺（八木戸）
- ・法量：像高57.1cm（1尺8寸8分）
- ・割矧造（わりはぎづくり）
（頭体幹部は針葉樹の一材より彫成）
- ・髻（もとどり）の表現が、町内の丹歌寺の木造聖観音立像（町指定・平安時代作）と近似し、周辺地域の仏像彫刻史を考える上で興味深い表現
- ・伝承では「大日藪」から移した



特徴的な髻の表現



令和5年度の調査の様子





<時期決定の特徴>



①丸く穏やかな顔立ち

あご

②顎をやや上げて目線を下に向ける表現

きょうぶ

③胸部を薄くあらわすのに対し腹部は豊かな肉取り

ふくぶ

④衣部の衣褶を浅めにあらわす

特徴①、②



特徴③

<大日如来坐像の来歴>

『明和町史』には、本像が「大日藪」から移されたとする伝承が紹介されています。今回、指定にあたり本像の来歴についても合わせて確認を行いました。

八木戸集落に関わる資料として、町指定文化財『八木戸庄屋文書』があり、江戸時代の集落の様子がよくわかります。資料群中に享保11年（1726）にまとめられた「八木戸村寺社帳」があり、薬師寺とは別に郷葺屋敷内に本像を祀る「大日庵」があることが記述されていました。村絵図などから具体的な場所を特定することはできませんでしたが、少なくとも江戸時代中期には、本像が集落に安置されていたことが確認できました。これからも、薬師寺のご本尊とともに地域で大切に守り伝えられることが望まれます。



八木戸 薬師寺



「八木戸村寺社帳」

屋敷之外田畑山林無御座候
是ハ八木戸村薬師寺五代以前住持釣善と申僧、武拾三年以前薬師寺
本尊之外ニ大日御座候ヲ守参隠居住、其節方大日庵と申候、宗旨御帳面ニ
大日堂と書上ケ申候得共大日庵ニ而御座候

庵

横式間

長式間半

但 藁ふき

一 浄土宗

伊勢国多気郡八木戸村

大日庵無住

右大日庵ハ郷葺屋敷之内ニ御座候

「八木戸寺社帳」該当部分の翻刻